

公 表
-----

### 第 33 回技能グランプリ「家具」職種競技課題

次の仕様及び支給材料に従って、課題図に示す作品を製作しなさい。

#### 1 競技時間

標準時間      1 1 時間 3 0 分      打ち切り時間      1 2 時間

#### 2 仕 様

- (1) 天板と帆立の接合は、留形隠し 7 枚蟻組接ぎとする。留先には R 4 mm の坊主面をとること。ただし、留形隠し 7 枚蟻組接ぎの加工は手加工とする。(電動ル等による荒取りは不可)
- (2) 帆立と中地板の接合は、剣留、2 枚ホゾ組片胴付きとする。
- (3) 地板と帆立の接合は、前部留及び片胴付きとする。
- (4) 天板、帆立、中地板及び地板の見付面は、蛇腹面とする。
- (5) 本体に収める扉は、開き戸とする。
- (6) 左扉の仕口等は、競技前日に公開とする。
- (7) 右扉の仕口等は、競技前日に公開とする。
- (8) 本体に納める引き出しの前板と側板は包み蟻 5 枚組接ぎとする。蟻の割り振りは選手任せとする。ただし、加工は手加工とする。(機械による粗取り不可)
- (9) 本体に納める引き出しの側板と先板は天秤 7 枚組接ぎとする。蟻の割り振りは選手任せとする。ただし、加工は手加工とする。(機械による粗取り不可)
- (10) つまみ、平丁番等の取り付け位置やその他図面に記載していないものについては、選手の判断で工作する。
- (11) 帆立と中地板の剣留加工及び地板の見付面、胴付き加工は手加工とする。
- (12) 脚部、角脚と幕板の仕口は小根付き二方胴付きホゾ組とする。
- (13) 脚部、角脚と貫の仕口は二方胴付きホゾ組とする。
- (14) 脚部、つな木と貫の仕口は通しホゾ組とする。
- (15) 本体、引き出し、扉及び脚部については加工の完了後(本組直前)検査を受けた後、接着・組み立てをすること。本体留先 R 加工以外検査後の再加工は不可。
- (16) 本体、引き出しのストッパー穴は手加工とする。
- (17) 本体と脚部の取り付けは、接着剤を使わず木ねじ止めとする。なお、取り付ける前に本体及び脚部のねじれの精度検査を受けること。
- (18) 面は指示されたところ以外は糸面とする。

(19) 中地板の片胴付き、地板のホゾの加工については、ストレートビットを用い、可搬工具で加工することは構わない。また、材料を垂直に立て、二枚ホゾを昇降盤で加工することは構わない。

(20) 競技会場には次の機械が設置してある。(機械を使用してもよい加工は下記に限る。)

A 横切り丸のこ盤

- ① 本体（天板、帆立板、中地板、地板、アクリル板、裏板）の切り回し。
- ② 角脚、幕板、貫、扉の長さ決め加工、横びき加工

B 昇降丸鋸盤

- ① 框組の横びき作業（ただし、ホゾの縦びきは、ホゾ取り装置を使用すること）
- ② 本体の段欠き（ただし案内定規にストッパーをつけて使用すること）
- ③ 扉の段欠き
- ④ 扉、抽斗側板の小穴加工
- ⑤ 引き出しの巾決め、長さ決め加工
- ⑥ 貫、幕板の巾決め、長さ決め加工
- ⑦ 中地板、地板の胴付き加工
- ⑧ 角脚の長さ決め加工

C 軸傾斜丸鋸盤

- ① 框組の横びき作業
- ② 本体の段欠き（ただし案内定規にストッパーをつけて使用すること）
- ③ 扉の段欠き
- ④ 扉、抽斗側板の小穴加工
- ⑤ 引き出しの巾決め、長さ決め加工
- ⑥ 中地板、地板の胴付き加工
- ⑦ 貫、幕板の巾決め、長さ決め加工
- ⑧ 角脚の長さ決め加工

D 電動トリマ

- ① 天板、帆立板、中地板、地板の段欠き加工、小穴加工
- ② 扉の面取り加工
- ③ 扉丁番の段欠き加工

E 電動ルータ

- ① 天板、帆立板、中地板、地板の段欠き加工、小穴加工
- ② 扉の面取り加工
- ③ 扉丁番の段欠き加工

## F 角のみ盤

- ① ホゾ穴加工
- ② 帆立 2 枚ホゾ穴加工

## G 電気(充電)ドライバー

- ① 下穴あけ加工
- ② 木ねじ締め

- (20) 持参工具一覧表に示していない形板やジグ類は使用できない。ただし、支給材料から競技時間内に製作して使用することは構わない。
- (21) 仕様や課題図に示していない事項、加工方法については競技会場で指示する。
- (22) 木工機械（横切り丸のこ盤、昇降丸のこ盤、軸傾斜丸のこ盤、角のみ盤）の取り扱い時には保護メガネ、保護帽子を着用の上、競技委員の指示に従って刃の接触予防装置等（安全カバー等）を取り付け、使用すること。
- (23) 繊維方向に巾決めをする場合は、競技委員の指示に従って反発予防装置（割刃）を取り付け使用すること。また、携帯工具、可搬工具についても安全面に留意して使用すること。
- (24) 脚部の原寸図(合板)は記載後、課題とともに提出のこと。

## 3 支給材料

(単位：mm)

	部品名	長さ	巾	厚み	数量	備 考
1	天板	610	360	20.5	1	チェリー材
2	帆立板	610	360	20.5	2	チェリー材
3	中地板	590	360	20	1	練心合板
4	地板	590	360	20	1	練心合板
5	木端練り材	600	21	21	2	中地板、地板用 チェリー材
6	縦框	370	45	20.5	4	チェリー材
7	横框	260	55	20.5	4	チェリー材
8	押さえ縁	370	7	5	4	チェリー材
9	鏡板	210	210	2	2	アクリル板
10	裏板	600	600	4	1	チェリー材 化粧合板（柾目）縦目
11	引き出し前板	570	85	20.5	1	チェリー材
12	引き出し側板	290	85	12.5	2	朴材
13	引き出し先板	570	85	12.5	1	朴材
14	引き出し底板	570	290	4	1	シナ合板

	部品名	長さ	巾	厚み	数量	備 考
1 5	角脚	340	45.5 (30.5)	45.5 (30.5)	4	チェリー材
1 6	幕板長手	580	40.5	20.5	2	チェリー材
1 7	幕板妻手	350	40.5	20.5	2	チェリー材
1 8	貫	340	30.5	20.5	2	チェリー材
1 9	つなぎ	580	35.5	20.5	1	チェリー材
2 0	丸頭真鍮釘	10			8	アクリル板押さえ縁用
2 1	普通釘	20			36	裏板・引き出し底板用
2 2	平丁番	51			4	LAMP 薄口丁番 F101-51 木ネジ付き
2 3	つまみ	D=24Φ	H=29		4	LAMP 白木丸棒つまみ SMRB24 木ネジ付き
2 4	マグネットキャッチ	60	18	18	1	LAMP MC-EA 木ネジ付き
1 5	接着剤	180 g			1	酢酸ビニル樹脂エマルジョン
2 6	原寸図用合板	600	400	4	1	シナ合板
2 7	ストッパー	100	9	9	1	チェリー材
2 8	木だぼ	30	φ 8		16	ブナ材
2 9	木ねじ	4. 1 × 4 5			6	本体脚部取り付け用

注 1：金具、接着剤、釘については表示の規格と異なることがある。

注 2：前日公開競技課題によって不必要な支給材料が発生する場合、回収することがある。